

令和元年度 第1回 御殿場市中小企業振興推進会議 議事概要

令和元年7月30日開催 14:00～15:00

御殿場市役所東館201会議室

※委員11名出席（全11名）

- 1 開会 （全体進行：御殿場市商工振興課長）
- 2 挨拶
瀧口副市長より挨拶
- 3 委嘱状交付
瀧口副市長より4名に委嘱状交付（金融協会 田代幹事、労福協 高橋事務局次長、教育委員会 勝俣教育監、御殿場市 田代産スポ部長）
- 4 委員自己紹介
- 5 情報提供
 - (1) 移住就業支援金について…資料1-1
(説明：事務局)
 - (2) プレミアム付商品券について…資料1-2
(説明：事務局)(質疑等)

芹澤委員長 （移住支援金について） これまでに申し込みはあったか。
事務局 申請はまだない。マッチングサイトに登録している企業が多ければ多いほど、申請が増える可能性は高くなるので、ぜひご登録いただきたい。
- 6 議事（進行：委員長）
 - (1) アンケート集計結果の報告…資料1-3
(説明：事務局)(質疑等)

芹澤委員長 気づいた点や疑問点があるか。

人材不足が叫ばれている割には、外国人の雇用があまりないと感じた。

矢部委員 外国人の受け入れの組合を作るのも中央会の仕事である。昨年度1件御殿場でも設立されたが、業種としては人材派遣業である。本来であれば製造業の方などが、例えば木材組合や建具組合があるかと思うが、その組合で外国人を受け入れて雇用するというのが理想的な形である。ただサービス業や介護福祉業での組合の設立が多いのが実情。なぜ製造業で少ないのかは分からないが、製造業で受け入れている方はかなりアンテナが高い。今回のアンケートは同友会とJCに所属している前向きな企業だと思うので、実際にはもっと少ないような気がする。商工会等と連携して、こういうことができると説明する機会を作ってもいいと感じた。

人出不足について、前回会議の後に大川さんと話した。例えば高齢者の活用について、アンケートでは、活用している企業が多く、活用していない企業に聞くと活用の意向がないとなっている。ただ高齢者は何歳以上を指すのかが分からない。例えば60歳定年の会社で、再雇用になる人もいるかと思うが、外でまだまだやりたいという人とスキルを持った方を求めている企業のマッチングができないかという話をした。大企業の工場に勤めている企業のOBなどはどうなのかと思っていたが、アンケートをみるとそこまで人材不足は深刻ではないようにも思える。業種によってよりけりだと思う。実際は個別に聞いてみないと分からない。

芹澤委員長 事業内容によって違うと思う。外国人にいろいろ教えるのに時間がかかるから大変。外国人の場合はお金がすべてという考え方もある。建設会社で外国人を使った例を聞いたが、長続きしないと聞いた。

大川委員 テレビで見たが、特殊な技術を身に付けようとする外国人は多い。

芹澤委員長 御殿場は外国人の割合が多いか。

事務局 人口は2000人くらいいる。

芹澤委員長 先日の合同企業ガイダンスにはどのくらいの人 came か。

事務局 来場者数は270人くらい。39社が参加した。3月に開催したときには、370人が来場し、雇用に結びついたのは10人おり、出展企業も喜んでた。

芹澤委員長 高校生が職業体験するのに就職担当の先生が受け入れ企業を探すのに苦労している。御殿場高校が主に就職は多いと思うが、南高

校でも就職希望する生徒がいる。インターンシップ受け入れ企業が増えたらいい。

大川副委員長 同友会では、同友会祭りで子どもたちへの職業体験というのをやっているが、御殿場の子どもたちが将来御殿場で就職してもらえるように、会社を知ってもらうことが大事だと考えている。受け入れ企業側も声がかからないからということがあると思う。

芹澤委員長 国の施策で移住したら100万円というのがあるが、御殿場出身の人が市内企業に就職したら100万円とかやったらどうか。お金の問題で難しいかと思うが。

勝又委員 BCPについて、市内企業で策定しているところはまだまだ少ないと思う。金融機関の支援が必須だが、受け入れの体制はどうか。

田代委員 BCPは商工会の方がやっている。具体的にBCPの支援は行っていないが、いろいろな専門家を紹介できる。その中でBCPの相談にも応じている。御殿場の企業の場合、かなり少ないと思う。

芹澤委員長 商工会で支援したのは5、6件程度。BCPに対する取り組みがしっかりできていないところが多い。BCPへの考え方を啓発することが商工会の課題だと思う。

勝又委員 策定に至るまでのプロセスが大変。それが簡素化できるか。多くの企業が参加してくれれば可能になるのでは。幸いに御殿場は大きな災害がなく、危機管理意識が低い。だが、実際に大災害に見舞われた企業の方に聞くとBCPを策定しておいて助かったという話を聞く。

田代委員 保証協会ではBCP対策用の融資枠があるが、取扱が少ない。補助金の申請とかであれば、最初の段階から支援をすることはあるが、BCPの場合は企業が中心にやらないといけないところがあるので、最初から積極的には支援していないのが現実。

大川副委員長 情報発信はしているが、なかなかハードルが高い。特に零細企業にはそこに対して時間がさけない。

矢部委員 「合併、M&A」を検討している企業が7とあるが、50のうち7というのは大きな数字。この中身が気になる。

田代委員 したいのか、されないのかが分からない。

勝又委員 合併等に対して金融機関が支援することはあるのか。

田代委員 もちろんある。事業承継、相続の相談も多い。

矢部委員 「合併、M&A」をしたいのか、されたいのか、どちらが多いと思うか。

田代委員 半々くらいだと思う。

勝又委員 合併はある程度体力があるときにはいいが、負債を抱えてしまった企業を買収するという企業はない。

田代委員 中身によって違う。利益が出ていれば負債を抱えていても OK という考え方もある。最近聞いた話だが、大企業を定年になった人をワンポイントの社長にするという組織があるという話も聞いた。

芹澤委員長 ワンポイントでどのくらい実権握れるのだろうか。

田代委員 後継者がまだ小さいケースなどに使うようだ。

事務局 先ほどの「合併、M&A」の話だが、複数回答可なので70の回答数があるので70のうちの7であることをお伝えしておく。

(2) 中小企業振興推進プランについて

(説明：事務局)

(質疑等)

芹澤委員長 藤枝の中小企業振興プランが参考としてあるが、御殿場独自のものを作ったらいいのでは。今見ても分からないと思うので、第2回会議の時に意見をいただきたい。

大川副委員長 事務局から説明あったが、条例ができて皆さんに集まってもらっているが、市民の皆さんが条例本文を見ることはほとんどない。なので、なぜこういった振興会議を開催しているか、各自治体で見える化しているということだと思う。藤枝市のプランを初めて見たが、分かりやすくまとまっている。委員の皆さんも任期中で変わってしまう中で、御殿場の産業振興をしていくため、後世に伝えていく意味でも御殿場市版のものができるらいいと思う。

7 事務連絡

8 閉会